

新学会創立記念講演 在宅医療は 21 世紀のイノベーション

7月14日(日) 14:40~15:40 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 新田 國夫 日本在宅ケアアライアンス

在宅医療介護連携/地域包括ケアシステムの今後	86
辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構	
高齢社会における医療と介護	87
大島 伸一 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	
在宅医療は 21 世紀の日本のカギの一つ	87
垣添 忠生 公益財団法人日本対がん協会	

新学会創立記念シンポジウム 在宅医療は 21 世紀のイノベーション

7月14日(日) 15:40~17:30 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 城谷 典保 新横浜在宅クリニック

座長 川越 正平 あおぞら診療所

近未来の社会経済構造と在宅医療	88
島崎 謙治 政策研究大学院大学	
2040 年を見据えた医療政策と在宅医療	89
迫井 正深 厚生労働省大臣官房審議官医政局担当	
21 世紀における「病気を家で治す」とは	89
石垣 泰則 医療法人悠輝会コーラルクリニック	
日本在宅医療連合学会の取り組むべき課題について	90
蘆野 吉和 日本在宅医療連合学会代表理事(社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター)	

新学会創立記念特別講演 在宅医療は 21 世紀のイノベーション

7月14日(日) 17:30~18:20 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 蘆野 吉和 社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター

あらためてなぜ在宅ケアなのか	91
猪飼 周平 一橋大学大学院社会学研究科	

大会長講演

7月15日(月・祝) 13:20~13:40 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター在宅連携医療部

在宅医の矜持~変わらないもの~	92
森 清 社会医療法人財団大和会 東大和ホームケアクリニック	

特別講演 1

7月14日(日) 13:40~14:30 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 草場 鉄周 医療法人北海道家庭医療学センター

地域包括ケアシステムの深化に向けた展望—価値共創モデルを用いたチェンジマネジメントのすすめ	93
筒井 孝子 兵庫県立大学大学院経営研究科	

特別講演 2

7月15日(月・祝) 10:40~11:40 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 蘆野 吉和 社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター

死を生きる	94
小堀鷗一郎 社会医療法人堀ノ内病院	

基調講演 1

7月14日(日) 13:50~14:30 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 一戸由美子 社会医療法人河北医療財団河北家庭医療学センター

在宅医療のコアコンピテンシーとプリンシプル	95
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所	

基調講演 2

7月15日(月・祝) 8:00~8:50 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 望月 弘彦 相模女子大学栄養科学部管理栄養学科

「在宅医療」改め、新時代の臨床技法“proactive approach”の提唱～人を医す中医、地域を医す大医を目指して～	96
川越 正平 あおぞら診療所	

教育講演 1

7月14日(日) 13:40~14:30 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 谷水 正人 国立病院機構四国がんセンター

在宅医療におけるスピリチュアルケア	97
山崎 章郎 在宅緩和ケア充実診療所ケアタウン小平クリニック	

教育講演 2

7月14日(日) 13:40~14:30 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 山口 佳之 川崎医科大学臨床腫瘍学

グリーフケア	98
広瀬 寛子 戸田中央総合病院	

教育講演 3

7月14日(日) 13:40~14:30 第5会場(京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 鈴木 央 鈴木内科医院

疑いの目を持ちつつ、患者に寄り添う気持ち：偽依存とケミカルコーピング	99
山口 重樹 獨協医科大学医学部麻酔科学講座	

教育講演 4

7月14日(日) 13:40~14:30 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 高橋 慶一 がん・感染症センター都立駒込病院外科

腎不全治療における在宅医療	100
吉田 一成 北里大学医学部新世紀医療開発センター臓器移植学	

教育講演 5 在宅医療の課題～医学教育～

7月15日(月・祝) 8:00～9:20 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 城谷 典保 新横浜在宅クリニック

日本在宅医療連合学会が取り組むべき医学教育とは何か、を語る 101

石垣 泰則 医療法人悠輝会コーラルクリニック

医学教育における在宅医療の位置づけ 101

荒木 裕人 文部科学省高等教育局医学教育課

教育講演 6

7月15日(月・祝) 8:00～9:00 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 武田 伸二 医療法人社団健伸会東町ファミリークリニック

日本での在宅医療の経験を生かしたネパールでの実践 102

檜戸健次郎 NGO [CROSS]

特別企画

7月14日(日) 14:40～15:30 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

座長 今村 昌幹 沖縄県立八重山病院内科

在宅医療における臨床研究に必要な倫理的配慮と手続き(倫理委員会企画) 103

三浦 靖彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院

シンポジウム 1 病院と地域がひとつになる

7月14日(日) 9:00～11:30 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 蘆野 吉和 社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター

座長 木下 朋雄 コンフォガーデンクリニック

S1-1 病院と地域がひとつになる 愛媛県の場合 104

谷水 正人 国立病院機構四国がんセンター

S1-2 病院は地域のいち施設である。地域医療は医療のいち分野でなく地域を構成するいち分野である。 105

北澤 彰浩 JA 長野厚生連佐久総合病院

S1-3 病院と地域の継続医療体制の構築について：急性期病院、有床診療所、地域の連携 105

岩井 正勝 もりおか往診ホームケアクリニック

S1-4 トランジショナル・ケアと ACP による地域活性化 106

三浦 久幸 国立長寿医療研究センター在宅連携医療部

S1-5 継続医療体制の構築に向けて中核病院の看護部門ができること 106

角田 直枝 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター看護局

特別発言 地域における看護力の確保 107

齋藤 訓子 公益社団法人日本看護協会

シンポジウム 2 今後の「看取り」を考える

7月14日(日) 14:40～17:00 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

座長 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所

S2 基調講演	医師による遠隔からの死亡診断等の動向について	108
	江崎 治朗 高知県健康政策部(元厚生労働省医政局)	
S2-1	“情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断等ガイドライン”の適切な実施に向けた日本医師会の取り組み	109
	今村 聡 公益社団法人日本医師会	
S2-2	看取りと救急医療	109
	坂本 哲也 帝京大学医学部附属病院	
S2-3	シマで生きる・シマで看取る	110
	坂東 瑠美 NPO 法人いけま福祉支援センター	
S2-4	「看取り」とは?	110
	泰川 恵吾 ドクターゴン診療所	

シンポジウム 3 ㊤ 「在宅医療介護連携支援センター」と地域包括ケアシステム

7月14日(日) 14:40～16:10 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 山路 義生 医療法人社団友志会野木病院在宅診療部希望(のぞみ)

座長 高砂 裕子 南区医師会訪問看護ステーション

S3-1	能動的な「共生社会」をめざして	111
	中山美由紀 社会医療法人財団大和会東大和市在宅医療・介護連携支援センターなんがい	
S3-2	地域包括ケアシステム構築に向けての松山市医師会の取り組み～松山市在宅医療支援センターを運営しての成果と今後の課題～	112
	亀井 敏光 医療法人友愛医院	
S3-3	医師会と連携し、大学・行政が共同運営する「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」の地域多職種支援と退院サポート事業等について	112
	池田 寛 豊明東郷医療介護サポートセンター	
S3-4	在宅医療連携拠点(在宅医療介護連携支援センター)の県全域への展開～行政と医師会との協働による拠点整備と拠点同士の絆づくり～	113
	荻野 和博 埼玉県保健医療部医療整備課	

シンポジウム 4 ㊤ わがまちの在宅医療・介護連携推進事業～これからどうする、どうしていく～

7月14日(日) 16:20～18:30 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 山口 佳之 川崎医科大学臨床腫瘍学

座長 木村 幸博 もりおか往診ホームケアクリニック

- S4-1 和泉市医療と介護の推進連携にかかる取り組みについて～オール和泉で取り組んだ10年を振り返る～ ……114
上村久美子 大阪介護支援専門員協会和泉市支部
- S4-2 意思を支えるための多機関・多職種のチーム形成への取り組み～プロセスを促進させたこと～ ……115
稲野 聖子 市立池田病院
- S4-3 在宅医療・介護連携推進事業における都道府県の役割 沖縄県 ……115
新屋 洋平 医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科/沖縄県医師会在宅医療・介護連携に係る市町村支援事業
- S4-4 住民も医療介護関係者もこころづもりを考えてみましょう、話し合ってみましょう～住民啓発・多職種研修の実施で見てきたのは、地域全体でACPを考え、学ぶことだった～ ……116
廣山 恵 鳥取県東部医師会在宅医療介護連携推進室
- S4-5 寸劇で取り組む在宅医療の普及啓発～愛知県安城市におけるボランティア劇団の活動～ ……116
岡本 雅彦 アイエムクリニック・安城
- S4-6 みぎわ認定栄養ケア・ステーション～栄養ケア活動の地域拠点をつくる～ ……117
白髭 豊 白髭内科医院
- S4-7 医療関連困難事例に対して「地域サポート医」が行うアウトリーチ事業 ……117
沼沢 祥行 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

シンポジウム 5 今後のEOLの捉え方

7月14日(日) 9:00～11:40 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 小野沢 滋 みその生活支援クリニック

座長 西川 満則 国立長寿医療研究センター

- S5 基調講演 今後のエンド・オブ・ライフ (EOL) の捉え方 ……118
西川 満則 国立長寿医療研究センター
- S5-1 果たして家族に頼らない「自分らしい最期」は可能か? ……119
小野沢 滋 みその生活支援クリニック
- S5-2 エンドオブライフケアの概念に基づく意思表示支援とその教育の重要性 ……119
長江 弘子 東京女子医科大学
- S5-3 アメリカのACPコミュニケーション教育、および日本でのEOLビデオ作成から学んだこと ……120
湯浅 美鈴 三重大学大学院医学系研究科
- S5-4 在宅看取りが進まない理由：死を前にした人にあなたは何かができますか? ……120
小澤 竹俊 めぐみ在宅クリニック/一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

共同企画：一般社団法人 日本エンドオブライフケア学会

シンポジウム 6 小児在宅医療の病診連携

7月14日(日) 9:00~10:30 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 前田 浩利 医療法人財団はるたか会

座長 富田 直 東京都立小児総合医療センター在宅診療科

- | | | |
|------|--|-----|
| S6-1 | 小児高度医療機関の病診連携における役割 | 121 |
| | 富田 直 東京都立小児総合医療センター在宅診療科 | |
| S6-2 | 療育施設ができる小児在宅支援 | 122 |
| | 竹本 潔 大阪発達総合療育センター小児科 | |
| S6-3 | 地域における予後不良の医療的ケア児の在宅支援 | 122 |
| | 宮田 章子 さいわいこどもクリニック | |
| S6-4 | 緩和ケアの視点から見た小児在宅医療 | 123 |
| | 余谷 暢之 国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科/小児がんセンターがん緩和ケア科 | |

シンポジウム 7 小児在宅医療のトランジションを考える

7月14日(日) 10:40~12:00 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 船戸 正久 大阪発達総合療育センター

座長 海老原 毅 心身障害児総合医療療育センター

- | | | |
|------|---|-----|
| S7-1 | 小児在宅医療のトランジションにまつわる課題 | 124 |
| | 松岡 輝昌 厚生労働省 | |
| S7-2 | 当法人で訪問診療を行っている医療的ケア者の課題 | 125 |
| | 前田 浩利 医療法人財団はるたか会 | |
| S7-3 | 生まれた時から成人期をイメージして関わる~0-100 在宅医療の立場から~ | 125 |
| | 紅谷 浩之 オレンジホームケアクリニック | |
| S7-4 | 在宅療養中のお子さんを抱える家族への支援~がん専門病院に勤務する心理士の立場から~ | 126 |
| | 榎場 美穂 静岡県立静岡がんセンター緩和医療科 | |

シンポジウム 8 ④ 地域包括ケア病棟と在宅医療

7月14日(日) 14:40~16:20 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 吉田 伸 医療法人博愛会額田病院

座長 山口 則之 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院

- | | | |
|------|---|-----|
| S8-1 | 地域包括ケア病棟への転換の検討と、在宅医療との連携 | 127 |
| | 飯田 達能 医療法人社団永生会みなみ野病院 | |
| S8-2 | 生活の連続性からみた地域包括ケア病棟におけるケアと入退院支援 | 128 |
| | 小堺 武士 KKR北陸病院/いしかわ921 在宅ネットワーク | |
| S8-3 | 急性期病院における地域包括ケア病棟の役割と在宅医療との連携 | 128 |
| | 樋口早智子 社会医療法人財団大和会東大和病院 | |
| S8-4 | 当院の訪問診療患者の入院傾向から考える地域包括ケア病棟の役割 | 129 |
| | 藤井 幹雄 健生会ふれあい相互病院 | |
| S8-5 | 地域に開かれた地域包括ケア病棟の活用と連携を目指したシステムアプローチ~住民×専門職×行政の協働による5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会の取組みからの考察~ | 129 |
| | 小栗 和美 飯塚病院/一般社団法人飯塚医師会 | |

シンポジウム 9 ㊤ 病院が実施する在宅医療の現状と課題

7月14日(日) 16:30~18:30 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 斎藤 康洋 GPクリニック自由が丘

座長 猪口 雄二 医療法人財団寿康会

S9-1	地域包括ケアと病院	130
	猪口 雄二 医療法人財団寿康会	
S9-2	沖縄の離島における県立病院が実施する在宅医療の歴史・現状と課題	131
	今村 昌幹 沖縄県立八重山病院内科	
S9-3	郡部医師会急性期病院に求められる在宅医療について	131
	末廣 剛敏 遠賀中間医師会おなが病院・おかがき病院	
S9-4	癌領域と非癌領域における在宅療養支援病院の役割の変化～心不全ターミナルを中心に～	132
	廣瀬 憲一 医療法人社団守成会広瀬病院	
S9-5	virtual hospital 在宅医療が病院を超える日～急性期基幹病院からの在宅医療の impact～	132
	谷合 久恵 JA 秋田厚生連由利組合総合病院糖尿病代謝内科	
S9-6	地域中核病院が提供する在宅医療と在宅医療教育の可能性：内科専門医研修とのコラボレーション	133
	次橋 幸男 公益財団法人天理よろづ相談所病院在宅世話どりセンター/天理医療大学医療教育・研究センター	

シンポジウム 10 認知症の在宅医療～その課題と対応策～

7月14日(日) 9:00~12:00 第5会場(京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 高瀬 義昌 医療法人至高会たかせクリニック

座長 苛原 実 いらはら診療所

S10 基調講演	認知症の人の意思決定をどう支援するか	134
	成本 迅 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学	
S10-1	『臨床倫理からみた認知症の人の意思決定支援』—frailでvulnerableな人々の尊厳に配慮するために—	135
	箕岡 真子 箕岡医院	
S10-2	作業療法士だからできる認知症の方への意思決定支援	135
	長井 陽海 ツクイ稲城東長沼	
S10-3	地域包括支援センターでの認知症に対するソーシャルワーク ～認知症になっても暮らし続けられる地域を目指して～	136
	小林 梢恵 社会医療法人財団大和会武蔵村山市北部地域包括支援センター	
S10-4	認知症初期集中支援チームの現状と課題	136
	鷺見 幸彦 国立長寿医療研究センター	
S10-5	AI IoT と認知症	137
	高瀬 義昌 医療法人至高会たかせクリニック	

シンポジウム 11 ㊤ 在宅医療における薬剤師の役割～ポリファーマシー対策・訪問薬剤管理指導・24 時間対応・健康サポート薬局など～

7 月 14 日(日) 14:40～16:30 第 5 会場 (京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 白髭 豊 医療法人白髭内科医院

座長 浅田 美子 株式会社大和調剤センター中央薬局

- S11-1 地域医療における薬剤師の役割～特に地域の健康サポート薬局の活用を検討する 138
浅田 美子 株式会社大和調剤センター中央薬局
- S11-2 地域一体型 NST(栄養サポートチーム)訪問から、居宅療養管理指導へ移行した症例を通して薬局薬剤師の関わりを検討 139
栗原 智広 日本調剤若葉薬局
- S11-3 地域薬局の処方提案の取り組みと減薬実績 139
三谷 徳昭 ミライ☆在宅委員会/パル薬局営生店
- S11-4 終末期がん患者における、在宅医と訪問薬剤師の連携の重要性 140
清水 一亘 医療法人聖授会緑・在宅クリニック
- S11-5 ポリファーマシーの重要性とその対策 140
白髭 豊 医療法人白髭内科医院

シンポジウム 12 ㊤ 多死時代の在宅看取り～まちづくりの視点～

7 月 14 日(日) 16:40～18:30 第 5 会場 (京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 小野沢 滋 みその生活支援クリニック

座長 高岡 直子 大田病院在宅医療課

- S12-1 在宅看取りに必要な覚悟～20 年間の在宅緩和ケア普及の取り組みからの結論～ 141
井尾 和雄 立川在宅ケアクリニック
- S12-2 在宅看取りについて考える。～各医療機関の取組み・栄区在宅医療ワーキンググループ立ち上げ、そして市民啓発に、多職種で演劇をやってみた～ 142
木村 貴純 医療法人桑樹会木村内科・胃腸内科
- S12-3 苦しみと向き合う文化をつくるいのちの授業プロジェクトを通して、レジリエントなまちづくりを目指す 142
小澤 竹俊 めぐみ在宅クリニック/一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会
- S12-4 多職種協働の一環としての在宅療養ガイドブックの作成 143
矢ヶ部伸也 医療法人純伸会矢ヶ部医院/在宅ネット・さが
- S12-5 「いのちの授業」で穏やかな看取りのできるまちづくり
～人生の最終段階における医療、療養についての意識調査から～ 143
久保田千代美 訪問看護ステーションひゅっぐりー
- S12-6 柏モデルにおける意思決定支援のガイドライン作りについて 144
松倉 聡 おおたかの森病院/柏市医師会

シンポジウム 13 実践！在宅人工呼吸ケア～在宅人工呼吸器とその周辺機器を使いこなす～

7月14日(日) 9:00～11:40 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

座長 今村 昌幹 沖縄県立八重山病院内科

S13 基調講演	在宅人工呼吸療法～1年後、5年後を見据え、今、どう設定するか？～	145
	武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック	
S13-1	在宅における急性呼吸障害に対する訪問呼吸リハビリテーション	146
	中田 隆文 マリオス小林内科クリニック	
S13-2	在宅人工呼吸器とその周辺機器～強化型在宅療養支援診療所で働く臨床工学技士の立場から～	146
	浜本 英昌 ドクターゴン鎌倉診療所	
S13-3	利用者に適した在宅人工呼吸療法を多職種で考える	147
	神保 隆行 一般社団法人横浜市都筑区医師会訪問看護ステーション	
S13-4	人工呼吸器を使用して、穏やかな在宅生活を送るために	147
	今平みづほ サポートライフ・結	
S13-5	在宅人工呼吸ケアにおけるクリニックナースの役割	148
	遠藤 直子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック	

シンポジウム 14 COPD 知ってケアすればこんなに違う！ ～在宅における多面的包括的呼吸ケア・リハビリテーション～

7月14日(日) 16:40～18:30 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

座長 鈴木 道明 小平すずきクリニック

S14-1	ガイドラインから見た在宅における COPD と心構え	149
	青木 康弘 医療法人康曜会プラーナクリニック呼吸器内科	
S14-2	COPD の包括的呼吸ケアリハビリテーション～訪問リハビリテーション能力果たす役割～	150
	横田 直子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック訪問リハビリテーション	
S14-3	在宅療養を継続するために訪問看護師ができること	150
	山本 弥生 医療法人はあとふる訪問看護ステーションハートパークはびきの	
S14-4	在宅だからできる COPD 栄養療法	151
	前田 玲 おびひろ呼吸器科内科病院	

シンポジウム 15 ㊤ 在宅医療介護連携における情報共有～ICT のもつ可能性～

7月14日(日) 9:00～11:50 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 ニノ坂保喜 へのさかクリニック

座長 高林克己 三和病院

S15 基調講演	情報化を活用した地域包括ケアネットワークの構築とごちゃまぜによる地域共生社会づくり	152
	唐澤 剛 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授/佐久大学客員教授	
S15-1	東京でのテーラーメイド医療介護情報連携	153
	松村 健 公立昭和病院	
S15-2	医療介護連携を中心とした東京都医療 ICT ネットワークの構築	153
	目々澤 肇 公益社団法人東京都医師会	
S15-3	医療資源の乏しい二次医療圏での在宅医療介護連携における情報共有～情報インフラとしての ICT の可能性～	154
	後藤 暁 後藤医院/飯田医師会	
S15-4	ゲーミフィケーションを活用し ICT 導入に苦手意識のある訪問看護ステーションに ICT を導入した事務員の試み	154
	細田 亮 くぬぎ山ファミリークリニック	
S15-5	訪問看護ステーションを主体とした在宅患者を面で支える ICT 連携～かかりつけ医の 24 時間連携をめざして～	155
	沼口 諭 大垣市医師会	
S15-6	地域におけるネットワークづくり～人と ICT の融和・発展を	155
	ニノ坂保喜 へのさかクリニック	

シンポジウム 16 排尿管理～病院と在宅をつなぐ～

7月14日(日) 14:40～16:50 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 土屋 邦洋 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック

座長 大川あさ子 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院

S16-1	排尿自立指導料の意義と実際	156
	谷口 珠実 山梨大学大学院総合研究部医学域健康・生活支援看護学講座	
S16-2	病院における排尿自立の取り組みについて：医師の立場から	157
	関戸 哲利 東邦大学医療センター大橋病院泌尿器科	
S16-3	排尿自立指導料の導入から在宅復帰に向けた当院の取り組み	157
	笹原 綾 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院看護部	
S16-4	在宅医療における尿路カテーテル管理の実際	158
	太田 雅也 医療法人社団医真会世田谷ホームケアクリニック	
S16-5	みんなで取り組む在宅排尿自立支援	158
	土屋 邦洋 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック	

シンポジウム 17 多職種による在宅透析・腹膜透析を含めた腎不全患者の医療的支援

7月14日(日) 17:00~18:30 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 河原崎宏雄 稲城市立病院
座長 谷亀 光則 望星大根クリニック

- S17-1 訪問診療と腹膜透析 159
櫻井 和弘 医療法人社団交鐘会あおぞら在宅診療所多摩
- S17-2 「自分らしく生きたい」という希望を叶えるための腹膜透析の支援について 160
笹川 幸江 稲城市立病院
- S17-3 在宅で過ごす腹膜透析患者を支えるために私たちが学ぶべきこと 160
高田 知美 医療法人俊栄会稲城訪問看護ステーションほほえみ
- S17-4 外来指導だけでは見えなかった！透析患者の食事状況の実態と在宅における食支援
～訪問栄養指導に入って、はじめて見えてきたもの 161
森川 志帆 医療法人社団イトワール会たんぼぼクリニック/医療法人社団豊済会境南クリニック

シンポジウム 18 高齢者慢性心不全患者のマネジメント

7月14日(日) 9:00~12:00 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所
座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

- S18 基調講演 超高齢社会における循環器診療 162
木原 康樹 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学
- S18-1 高齢心不全患者を地域でいかに効率的にみていくか 163
弓野 大 医療法人社団ゆみの
- S18-2 慢性心不全患者の再入院を防ぎ、QOL を高めるための支援とは～予防看護の重要性とチームアプローチの有効性を考える～ 163
篠原かおる 株式会社ピュア・ハート訪問看護ステーション・青い空
- S18-3 高齢者心不全管理における総合機能評価の必要性 164
山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
- S18-4 高齢者慢性心不全患者のマネジメント ますま重要となる心臓リハビリテーションと地域連携について考える 164
石野 光則 社会医療法人財団大和会東大和病院
- S18-5 在宅医療からみた心不全緩和ケアの現状と課題 165
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所

シンポジウム 19 放射線治療の在宅医療における適応

7月14日(日) 13:40~16:00 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 辻 彼南雄 水道橋東口クリニック
座長 茅根 義和 東京共済病院緩和ケア内科

S19 基調講演	がんの症状を和らげる緩和的放射線治療	166
	和田 仁 南東北がん陽子線治療センター	
S19-1	過去10年間の骨転移に対する放射線治療の検討	167
	平 栄 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院	
S19-2	放射線治療の在宅における適応～在宅医の立場から～	167
	石橋 了知 藤野在宅緩和ケアクリニック	
S19-3	在宅療養中のがん患者が有効的に放射線治療を受けるために	168
	篠木 安代 (株)清心みのり地域看護ステーション	

シンポジウム 20 コミュニケーション～聴力と発語について～

7月14日(日) 16:10~18:30 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 原 龍馬 原歯科医院(市が尾)
座長 田村 学 医療法人学縁会おおさか往診クリニック

S20-1	コミュニケーション専門家のコミュニケーション障害～脳梗塞10年目STの脳梗塞物語～	169
	関 啓子 三鷹高次脳機能障害研究所	
S20-2	聴覚障害者と医療	170
	細田 恵子 東大和市聴覚障害者協会	
S20-3	歯科衛生士として～発語への関わりについて～	170
	田邊 智子 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院	
S20-4	加齢性難聴を理解してコミュニケーション力をつけよう	171
	田村 学 医療法人学縁会おおさか往診クリニック	
S20-5	在宅医の9割はコミュニケーション力!?	171
	長尾 和宏 (医)裕和会長尾クリニック	

シンポジウム 21 精神疾患の在宅医療

7月14日(日) 9:00~12:00 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 大城 一 医療法人社団大法会遠江病院
座長 北田 志郎 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科

S21 基調講演	高齢者におけるうつ病と認知症	172
	井上 猛 東京医科大学精神医学分野	
S21-1	精神科としての地域包括ケアシステム	173
	片山 成仁 医療法人社団成仁	
S21-2	精神疾患の在宅看護の役割と課題	173
	服部 紋子 みなみだい訪問看護ステーション	
S21-3	在宅医療における高齢者精神疾患の実態	174
	内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック	
S21-4	精神医療の現状と在宅医療	174
	長坂 省三 社会医療法人財団大和会東大和ホームケアクリニック/北野台病院	

シンポジウム 22 ㊤ 医療制度と病診連携

7月14日(日) 13:40~16:30 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

座長 永井 康徳 医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック

S22 基調講演	平成30年度診療報酬改定を踏まえた病診連携報酬と有床診療所を介した病診連携の有用性について	175
	永井 康徳 医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック	
S22-1	病棟看護師の実践的考察	176
	秋山 紗知 社会医療法人財団大和会東大和病院	
S22-2	病診連携における在宅療養支援診療所のMSWの役割	176
	松重 明 医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック	
S22-3	長崎市における在宅療養支援の最近の動向と今後の課題	177
	安中 正和 医療法人安中外科・脳神経外科医院/認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット	
S22-4	在宅医療における急性期入院と在宅療養後方支援病院制度	177
	矢崎 一雄 医療法人財団老蘇会静明館診療所	
S22-5	医療制度と病診連携～病院ソーシャルワーカーの立場から	178
	植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター	
S22-6	病院から在宅へのアウトリーチの意味	178
	荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター	

シンポジウム 23 在宅医療における臨床検査の新しい展開

7月14日(日) 16:40~18:30 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

座長 深澤 恵治 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

S23-1	在宅医療に関わる臨床検査技師の立場から	179
	西成田睦未 医療法人社団杏生会文京根津クリニック	
S23-2	在宅医療への臨床検査(技師)の様々な関わり方～自身の経験から～	180
	宮下 勉 医療法人社団鴻鵠会	
S23-3	地域包括ケアにおける臨床検査技師の役割	180
	小野 宏志 医療法人社団心坂の上ファミリークリニック	
S23-4	在宅医療における臨床検査技師の役割～日臨技としての取り組み～	181
	深澤 恵治 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	

共同企画：臨床検査振興協議会

シンポジウム 24 がんの在宅医療～乳がんと前立腺がんを中心に～

7月14日(日) 9:00～11:50 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 柵山 年和 成田病院外科、慈恵医科大学

座長 田中 登美 奈良県立医科大学医学部看護学科成人慢性期看護学

S24 基調講演 1	ひとつになる医療へー乳がん患者への切れめない医療ー	182
	山内 英子 聖路加国際病院	
S24 基調講演 2	前立腺がんの現況と在宅医療	183
	大堀 理 東京国際大堀病院	
S24-1	外来化学療法通院患者が在宅で安心して過ごすための薬学的支援	183
	岸本ゆかり 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院薬剤科	
S24-2	乳癌末期患者の在宅に向けた継続支援	184
	新井 陽子 公立昭和病院	
S24-3	身体的ケアを通して、心と生活の質を考える	184
	豊原 道枝 社会医療法人財団大和会東大和訪問看護ステーション	

シンポジウム 25 在宅医療における医科歯科連携

7月14日(日) 13:40～16:30 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 竹山 廣光 三重北医療センター

座長 太田 博見 太田歯科医院

S25 基調講演	「曖昧な医科歯科連携問題に終止符を打つために」成功事例に学び、連携構築に必要な指標を考察する	185
	太田 博見 太田歯科医院	
S25-1	在宅医療における医師と歯科口腔外科チームとの共同診療が患者にもたらす恩恵	186
	長野 宏昭 沖縄県立中部病院	
S25-2	地域歯科医師会による在宅施設療養者への口腔関連支援～訪問歯科診療、口腔ケア、嚥下栄養ケア～	186
	川村 洋 大崎歯科医師会	
S25-3	特養における口腔ケアと経口摂取支援ー誤嚥性肺炎を減少させた多職種連携ー	187
	近江 綾子 特別養護老人ホームつるみね	
S25-4	在宅医療クリニック内での医科歯科連携の実際	187
	若杉 葉子 医療法人社団悠翔会	
S25-5	最期まで食べる食支援のムーブメントを起こし地域を変えるための在宅 NST	188
	太田 俊輔 太田医院	
S25-6	病院歯科から考える在宅医療における医科歯科連携	188
	石井 良昌 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院/一般社団法人海老名市歯科医師会	

シンポジウム 26 地域嚙下～地域で飲み込みを支えるまちづくりをめざして～

7月14日(日) 16:40～18:30 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 大石 善也 大石歯科医院

座長 元橋 靖友 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院

- S26-1 一地域連携づくりー同じ目標に向かって(嚙下リハ)189
大川 延也 大川歯科医院
- S26-2 病院の言語聴覚士の立場から～退院後のアンケート結果から考えられること～190
大澤 康貴 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院
- S26-3 地域で支える摂食嚙下～言語聴覚士の立場から～190
松木 りこ ことばの相談室はる/ディケアルームフローラ/つばさリハビリ訪問看護ステーション
- S26-4 VF/VE が整わない環境における嚙下の診方～評価の原点 4つの箱とは～191
大石 善也 大石歯科医院
- S26-5 街づくりの視点から～地域の関連施設間における連携構築の重要性と実践例～191
元橋 靖友 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院

シンポジウム 27 ALSにおける協働意思決定～揺らぐ気持ちと向き合う～

7月14日(日) 9:00～11:50 第14会場(工学院大学 新宿キャンパス 3F アーバンテックホール)

座長 宮崎 之男 医療法人社団つくし会新田クリニック

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

- S27 基調講演 ALSにおける協働意思決定～揺らぐ気持ちと向き合う～192
荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター
- S27-1 意思決定支援の実践193
平井 健 康明会病院/東京都立神経病院
- S27-2 ALS 在宅人工呼吸療法の現状と課題～難病ケア看護の視点から～193
中山 優季 公益財団法人東京都医学総合研究所難病ケア看護
- S27-3 生きる力コミュニケーション ALS 患者のコミュニケーション支援について194
本間 武蔵 都立神経病院リハビリテーション科
- S27-4 ALSにおける意思決定支援「在宅医による意思決定支援」194
藤田 拓司 (医) 拓海会神経内科クリニック

シンポジウム 28 ㊤ プライマリケアの現場から始める ACP

7月15日(月・祝) 8:00～10:30 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 紅谷 浩之 オレンジホームケアクリニック

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター在宅連携医療部

- S28 基調講演 ACP—その誤解・曲解・正解.....195
三浦 久幸 国立長寿医療研究センター在宅連携医療部
- S28-1 高齢者向けの「人生の最期を考えるワークショップ」の評価に関連する要因の検討196
中里 和弘 尚絅大学短期大学部
- S28-2 地域から人生会議をつなぐ～外来から入院、そして在宅医療へ～196
紅谷 浩之 オレンジホームケアクリニック
- S28-3 最期まで生き生きを支える～ものがたり付箋～197
石丸友里江 医療法人社団ナラティブホームものがたり居宅介護支援センター
- S28-4 地域包括ケアの中で進める患者/利用者/住民の価値観に基づく意思決定を共に支える ACP 人材育成の取り組み～あいち ACP プロジェクトからの考察～197
後藤 友子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

シンポジウム 29 ㊤ 独居高齢者等の在宅看取りが可能となるまちづくり

7月15日(月・祝) 13:50~16:00 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 馬見塚統子 社会医療法人財団大和会東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

座長 長尾 和宏 (医) 裕和会長尾クリニック

- S29-1 急速な高齢化が進む“多摩ニュータウン団地”からの実践報告
～様々な主体による「多摩市・永山モデル」の取組み～198
伊藤 重夫 多摩市役所
- S29-2 住民に必要とされる自治会づくり199
佐藤 良子 立川市大山自治会前会長相談役
- S29-3 独居高齢者等を支える地域連携ネットワーク199
山本 繁樹 立川市社会福祉協議会
- S29-4 いわゆるニュータウン問題に対しての医療支援のモデル提示
～京都市西京区における、洛西ニュータウンの1例～200
守上 佳樹 医療法人双樹会よしき往診クリニック
- S29-5 独居高齢者の在宅医療と看取りの現状“より良い在宅看取りを目指して”200
レシャード カレッド 医療法人社団健社会レシャード医院
- S29-6 独居の看取り・10の条件201
長尾 和宏 (医) 裕和会長尾クリニック
- S29-7 なんとめでたいご臨終201
小笠原文雄 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック

シンポジウム 30 ㊤ 病院と在宅医療の連携

7月15日(月・祝) 8:00~10:10 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 吉澤 明孝 要町病院・要町ホームケアクリニック

座長 梁 広石 順天堂東京江東高齢者医療センター

- S30 基調講演 aging in place (住み慣れた地域で暮らし続ける)を実現するために
～病院医療と在宅医療の連携できていますか?～202
宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス
- S30-1 病院と在宅診療所の連携強化のための試み203
西村 嘉裕 いばらき診療所みと
- S30-2 療育施設からの在宅医療支援—急性期施設から転院、「小児在宅移行支援プログラム」を経て在宅医療へ203
和田 浩 大阪発達総合療育センター訪問診療科/大阪発達総合療育センター小児科
- S30-3 地域の在宅医が非常勤医師として急性期病院の在宅支援外来を行うことの意義204
福本 和彦 磐田在宅医療クリニック/磐田市立総合病院
- S30-4 在宅医療における病診相互連携204
吉澤 明孝 要町病院・要町ホームケアクリニック

シンポジウム 31 ㊤ 地域の中で 24/7 体制をどのように確保するか

7月15日(月・祝) 10:20~11:30 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 森本 昌宏 大阪なんばクリニック

座長 英 裕雄 医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック

- S31-1 当番医制度による 24/7 体制の維持205
柳楽 知義 さくらクリニック
- S31-2 大都市圏に集中する高齢者人口の急増を見据えた戦略的な大規模訪問看護ステーションへの取り組み206
金坂 宇将 ケアプロ訪問看護ステーション東京
- S31-3 柏モデルにおける主治医・副主治医制度の機能を強化するための取り組み206
古田 達之 柏市医師会在宅プライマリ・ケア委員会/医療法人社団双樹会古田医院

シンポジウム 32 ㊤ 専門医と在宅医との協働

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 中島 孝 独立行政法人国立病院機構新潟病院

座長 葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学教室

- S32-1 在宅医との連携(病院専門医の体場から)207
葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学教室
- S32-2 がん患者の終末期における専門医と在宅医の連携の試み208
河田 真弓 医療法人社団永研会ちとせクリニック
- S32-3 免疫チェックポイント阻害薬による治療時に在宅医療ができること208
篠田 裕美 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック/関医院/済生会宇都宮病院
- S32-4 在宅輸血普及に向けての血液内科医と在宅医との協働について/血液疾患における在宅輸血を中心に209
伊藤 達也 西大須伊藤内科・血液内科
- S32-5 血液疾患患者の在宅療養を支援し、病院専門医・医療者及び地域医療者を繋ぐ地域ネットワーク構築へ向けて
一血液在宅ねっとの活動一209
安達 昌子 さくら醫院/血液在宅ねっと
- S32-6 小規模の診療所の小児科未経験者でもできる医療的ケア児の在宅医療210
島崎 亮司 地域医療振興協会シティタワー診療所
- S32-7 専門医と協働する在宅医の役割を考える~併診事例を振り返って~210
引野 雅子 ひきのクリニック

シンポジウム 33 フレイル予防はまさに「まちづくり」

7月15日(月・祝) 8:00~10:30 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 若林 秀隆 横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

- S33 基調講演 **国家戦略としての「フレイル対策」—総合知によるまちづくり—**211
飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構
- S33-1 **包括的な地域連携によりフレイルへの介入が著効し、訪問診療から外来診療へ移行可能となった一例**212
望月 諭 医療法人社団のぞみの朋
- S33-2 **地域で実践できるフレイル・サルコペニア評価**212
佐竹 昭介 国立長寿医療研究センターフレイル研究部
- S33-3 **摂食嚥下リハビリテーションを専門とした歯科クリニックの立場から地域高齢者の“食べる”とフレイル予防を考える**213
尾関麻衣子 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- S33-4 **在宅医療と骨粗鬆症を考える 骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組みからみた在宅医療との関わり方**213
山岸賢一郎 社会医療法人財団大和会東大和病院整形外科
- S33-5 **医原性を含めたフレイル・サルコペニアを予防するための在宅リハビリテーション栄養**214
若林 秀隆 横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科

共同企画：一般社団法人日本老年医学会

シンポジウム 34 ㊦ 地域緩和ケアネットワークの現状と課題

7月15日(月・祝) 10:40~12:00 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 丸山 道生 田無病院

座長 井尾 和雄 立川在宅ケアクリニック

- S34-1 **在宅療養支援診療所における緩和医療専門医によるコンサルテーション活動**215
岩本 華子 医療社団法人プラタナス桜新町アーバンクリニック在宅医療部
- S34-2 **病院と地域で取り組む地域緩和ケア質向上のための取り組み～在宅緩和ケア地域連携パス、在宅緩和ケア推進会議を中心に～**216
児玉麻衣子 福井大学医学部附属病院がん診療推進センター/オレンジホームケアクリニック
- S34-3 **当院における在宅看取りの現状～がん患者の在宅と病院の連携を考える～**216
柳沢 博 医療法人社団焰やまと診療所
- S34-4 **地域緩和ケアのための病院と在宅の連携**217
大和 太郎 やまと@ホームクリニック
- S34-5 **ウィルソン病に伴う精神・神経症状があり、独居の生活保護世帯で、直腸癌により自宅で最期を迎えた方の地域連携の課題**217
徳田 英弘 ファミリークリニックネリヤ

シンポジウム 35 かかりつけ医・訪問診療によるまちづくり～医師会とまちづくり～

7月15日(月・祝) 13:40～16:00 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 鈴木 央 鈴木内科医院/大森医師会
座長 尾崎 治夫 公益社団法人東京都医師会

- S35-1 地区医師会が挑む「まちづくり」218
鈴木 央 鈴木内科医院/大森医師会
- S35-2 東京都医師会の取り組む在宅医療推進について219
土谷 明男 公益社団法人東京都医師会
- S35-3 強い医師会—引っ張る医師会、押される医師会—219
有村 章 有村クリニック
- S35-4 自治体と医師会、在宅ドクターネット、在宅医療診療所、地域の多職種が連携して進める在宅医療推進と地域づくり220
後藤 慶次 医)ソレイユひまわり在宅クリニック
- S35-5 医師会が医療介護従事者、病院、行政、市民に働きかけて地域の規範的統合を主導し、戦略的に行動する形でまちづくりに貢献する220
川越 正平 松戸市医師会

シンポジウム 36 ㊦ 事務のはたらき～在宅医療システムの構築～

7月15日(月・祝) 9:30～10:50 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 永井 康徳 医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック
座長 増永 英尚 オレンジホームケアクリニック

- S36-1 やまと式組織作り～事務方の果たす役割～221
清水 雅大 医療法人社団焰やまと診療所
- S36-2 在宅医療の現場を支えるクラークの育成222
増永 英尚 オレンジホームケアクリニック
- S36-3 院内情報共有システムを自院で内製することによる院内マネジメントの効率化222
前田 浩幸 医療法人社団敬崇会猪原歯科・リハビリテーション科
- S36-4 クリニック発展のために、事務・事務長のあるべき姿とは何か223
木原 信吾 医療法人ゆうの森

シンポジウム 37 高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン 2019年版の紹介と今後の普及について

7月15日(月・祝) 11:00～12:00 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック
座長 葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学

- S37-1 本ガイドラインのオーバービュー224
葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科学
- S37-2 ガイドラインの活用と在宅医療に関する研究の推進225
山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
- S37-3 地域包括ケアシステムを軸とした高齢者在宅医療のエビデンスの現状と課題225
飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構
- S37-4 このガイドラインが示すものと使い方、活かし方226
茅根 義和 東京共済病院緩和ケア内科
- S37-5 初版のガイドラインはサンドバックなのだ226
大友 宣 医療法人財団老蘇会静明館診療所

シンポジウム 38 非がん疾患の在宅医療 診療ガイドラインをどう活用すべきか（研究委員会企画）

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第4会場（京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC）

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構

- S38-1 「高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019」をどのように活用できるか？227
和田 泰三 医療法人理智会たなか往診クリニック
- S38-2 「急性・慢性心不全診療ガイドライン」に基づいた在宅における心不全診療228
田中 宏和 ゆみのハートクリニック
- S38-3 ガイドラインに基づいたパーキンソン病の診療228
波田野 琢 順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科
- S38-4 在宅診療における排泄ケアと尿路カテーテル管理について229
矢澤 聡 慶聴会矢澤クリニック/慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室/東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
- S38-5 EBM（Evidence Based 看取り）：非がん患者在宅医療編229
大友 宣 医療法人財団老蘇会静明館診療所

シンポジウム 39 在宅医療における薬の減らし方（ポリファーマシーと在宅医療）～各科の知恵～

7月15日(月・祝) 8:00~10:20 第5会場（京王プラザホテル 新宿 4F 錦）

座長 高瀬 義昌 医療法人社団至高会たかせクリニック

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座

- S39 基調講演 高齢者の薬物療法とポリファーマシー230
小島 太郎 東京大学医学部附属病院老年病科
- S39-1 在宅医療における糖尿病診療の要点～血糖目標/薬剤選択/ポリファーマシー対策を含めて231
犬飼 浩一 社会医療法人財団大和会東大和病院
- S39-2 循環器領域のポリファーマシー。EBM とガイドラインに基づいた解決231
桑田 雅雄 社会医療法人財団大和会東大和病院附属セントラルクリニック
- S39-3 つなぐ薬局におけるポリファーマシーとの向き合い方232
鈴木 邦彦 ワイズ株式会社つなぐ薬局/一般社団法人ミライ☆在宅委員会
- S39-4 在宅医療におけるポリファーマシー対策の意義と実践232
高瀬 義昌 医療法人社団至高会たかせクリニック

シンポジウム 40 薬剤師の在宅患者訪問の意義～医薬品提供から薬物治療支援へのパラダイムシフト～

7月15日(月・祝) 10:30~12:00 第5会場（京王プラザホテル 新宿 4F 錦）

座長 串田 一樹 昭和薬科大学

座長 根本ひろ美 ねもと薬局

- S40-1 地域医療連携における薬剤師の役割233
白石 丈也 有限会社メディックス白石けや木薬局
- S40-2 在宅患者の処方適正化に向けて、薬局薬剤師ができること234
宇都宮励子 一般社団法人大阪ファルマプランあおば薬局
- S40-3 在宅医療の充実に向けた薬局薬剤師の新たな役割234
木村 雅彦 有限会社サンメディカルあけぼの薬局
- S40-4 生きづらさを抱えて 住みなれた地域で暮らす子どもたちを支えるために 私たちにできること235
川名三知代 ココカラファイン薬局砧店

シンポジウム 41 これからどうする在宅医療

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第5会場(京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

S41 基調講演	在宅医療の課題と今後の展望	236
	武田 俊彦 厚生労働省政策参与	
S41-1	在宅医療をやっていて感じること	237
	木村 幸博 医療法人葵会もりおか往診ホームケアクリニック	
S41-2	在宅医療に対する地域ニーズの変化—大都市部での経験から—	237
	佐々木 淳 医療法人社団悠翔会	
S41-3	地域内機能分化と主語の転換～「おうちにかえろう病院」の戦略～	238
	安井 佑 医療法人社団焰やまと診療所	

シンポジウム 42 看取りを取り巻く諸問題～みなし末期を考える～(次世代委員会企画)

7月15日(月・祝) 8:00~9:00 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 江口幸士郎 今立内科クリニック

S42-1	看取りを取り巻く諸問題～認知症について考える～	239
	洪 英在 三重県立一志病院	
S42-2	入院中に「終末期」と判断されても、訪問診療を開始後に改善する可能性、特に「低活動型せん妄」を念頭におく	240
	木村 琢磨 埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS 館クリニック	

シンポジウム 43 2025年に求められる在宅医療、総合診療のスペシャリストとは

7月15日(月・祝) 9:10~10:30 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 久島 和洋 ドクターゴン鎌倉診療所

座長 木村 琢磨 埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS館クリニック

S43-1	在宅医療及び総合診療の研修を終えた立場から	241
	田中 啓太 みえ医療福祉生活協同組合いくわ診療所	
S43-2	在宅医療研修における総合診療医の伸びしろ	242
	一ノ瀬英史 いちのせファミリークリニック	
S43-3	在宅医療の研修に関する、日本プライマリ・ケア連合学会・家庭医療研修修了者の自己評価、指導医評価	242
	藤谷 直明 宮崎医院/大分大学医学部総合診療・総合内科学講座	
S43-4	在宅医療の研修に関する、日本在宅医学会・家庭医療研修修了者の自己評価、指導医評価	243
	江口幸士郎 今立内科クリニック	
S43-5	在宅医療専門医に求められる社会的役割	243
	木下 朋雄 コンフォガーデンクリニック	

合同企画：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

シンポジウム 44 災害と在宅医療

7月15日(月・祝) 10:40~11:40 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 山下 哲郎 工学院大学

座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

- | | | |
|-------|--|-----|
| S44-1 | 首都直下地震等の被害想定と緊急医療救護所および災害拠点病院の対応について | 244 |
| | 山下 哲郎 工学院大学建築学部 | |
| S44-2 | 救命医として、在宅医としての災害医療対応の経験から | 245 |
| | 泰川 恵吾 ドクターゴン診療所 | |
| S44-3 | 災害弱者が地域で守られるために | 245 |
| | 古屋 聡 山梨市立牧丘病院 | |

シンポジウム 45 在宅医療における生活の視点～MSW の介入について～

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 武山ゆかり 公益社団法人豊島区医師会

座長 秋山 正史 藤戸クリニック

- | | | |
|-------|--|-----|
| S45-1 | 訪問診療をもつ総合病院 MSW の関わり | 246 |
| | 山口 可波 竹田総合病院 | |
| S45-2 | 訪問看護ステーションにおけるソーシャルワーク | 247 |
| | 山村 朋子 株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬 | |
| S45-3 | 地域包括ケアモデルの有床診療所における医療ソーシャルワーカーの実践 | 247 |
| | 小山 幸 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所 | |
| S45-4 | 都市部の在宅療養支援診療所におけるソーシャルワーク実践 | 248 |
| | 上田まゆら 医療法人社団青い鳥会上田クリニック | |
| S45-5 | 死生について考える文化づくり「きつき終活応援プロジェクト」～行政ソーシャルワークの実践を通して～ | 248 |
| | 岡江 晃児 杵築市医療介護連携課 | |

共同企画：公益社団法人日本医療社会福祉協会

シンポジウム 46 リハビリとまちづくり

7月15日(月・祝) 9:00~11:50 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 横山 和正 順天堂大学医学部脳神経内科

座長 井上 俊之 たんぼぼクリニック

- | | | |
|----------|---|-----|
| S46 基調講演 | 医療・福祉の専門職である前にそこで暮らす1人の人として。 | 249 |
| | 糟谷 明範 株式会社シンクハピネス | |
| S46-1 | 回復期リハビリテーション病棟を退院後、在宅生活獲得・社会参加へと繋げるためのチーム医療としての方策 | 250 |
| | 鈴川 活水 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院 | |
| S46-2 | 在宅医療が地域を変える | 250 |
| | 太田 秀樹 医療法人アスミス | |
| S46-3 | 健康づくりでまちづくり | 251 |
| | 尾本由美子 荒川区健康部(保健所)健康推進課 | |
| S46-4 | まちづくりのリハビリテーションー専門職目線と当事者目線 | 251 |
| | 安部 能成 千葉県立保健医療大学 | |

シンポジウム 47 多様化する在宅医療ニーズに応える地域リハビリテーションを語り合う

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック

座長 水間 正澄 医療法人社団輝生会

- S47-1 **在宅で提供するリハビリテーション医療—人生を再構築するために—**252
石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック
- S47-2 **地域リハビリテーションと多職種連携**253
柴山志穂美 埼玉県立大学
- S47-3 **在宅医療における訪問リハビリテーションの役割**253
宮田 昌司 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会/医療法人社団輝生会本部
- S47-4 **リハビリテーション医学を地域で実践する**254
近藤 国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院

共同企画：一般社団法人日本生活期リハビリテーション医学会

シンポジウム 48 地域における孤立・いじめ・虐待に対決する

7月15日(月・祝) 8:00~10:10 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 和田 忠志 医療法人社団実幸会いらはら診療所

座長 馬見塚統子 社会医療法人財団大和会東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

- S48 特別講演 **不衛生な家屋(いわゆる、ごみ屋敷)で生活するセルフ・ネグレクトの人への支援**255
岸 恵美子 東邦大学看護学部
- S48-1 **ためこみ症(Hoarding disorder): 散乱した居住空間の住人たち—当院での関わりと対応について—**256
磯野 理 公益社団法人信和会京都民医連あすかい病院
- S48-2 **学校や地域における孤立・いじめ・虐待への集団対応対策法—スクールソーシャルワーク実践報告—**256
入海英里子 学校法人自由学園
- S48-3 **松戸市での虐待防止の現状と課題**257
和田 忠志 医療法人社団実幸会いらはら診療所

シンポジウム 49 介護医療院は何を目指すのか—その理想と現実に迫る—

7月15日(月・祝) 10:20~12:00 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 小野 宏志 医療法人社団心坂の上ファミリークリニック

座長 高谷 陽子 あおぞら診療所

- S49-1 **介護保険制度の施行状況と介護医療院の今後の期待**258
眞鍋 馨 厚生労働省老健局老人保健課
- S49-2 **尊厳を保障する介護医療院の理念と実践—住まいと生活を医療が下支えする新たなモデルの創設—**259
江澤 和彦 公益社団法人日本医師会
- S49-3 **介護医療院の期待と課題**259
長尾 和宏 (医) 裕和会長尾クリニック

シンポジウム 50 ㊤ 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するために看護師にできること

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 山田 雅子 聖路加国際大学

座長 田代 真理 JCHO東京新宿メディカルセンター

- S50-1 家で看取る～ドブタミン・フロセミド持続点滴投与した末期心不全患者の症例～260
村崎佳代子 医療法人社団重光会本町訪問看護ステーション
- S50-2 在宅医療の中でエンドオブライフの質を高めるために看護師ができること261
田中 雄大 コパン訪問看護ステーション
- S50-3 在宅支援診療所の看護師にできること～がん看護専門看護師の立場から～261
上田 仁美 医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック
- S50-4 介護施設スタッフと訪問看護師の連携で、質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを目指す
～在宅看取りの実践を通して～262
小野 幸代 訪問看護ステーションつばさ
- S50-5 訪問看護ステーションができること～自組織での取組みを振り返って～262
矢尾知恵子 社会医療法人河北医療財団/河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷/
河北ファミリークリニック南阿佐谷
- S50-6 患者が介護者に感じる負担感(Self-Perceived Burden)の軽減に向けた看護師の役割263
大谷 美樹 島根県立大学

シンポジウム 51 まちづくりと地域看護

7月15日(月・祝) 8:00~10:20 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 菅原 由美 NPO法人キャンナス

座長 中山美由紀 社会医療法人財団大和会東大和市在宅医療・介護連携支援センターなんがい

- S51 基調講演 1 つながる・ささえる・つくりだす 地域を耕す看護の役割264
秋山 正子 (株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション/暮らしの保健室/認定NPO マギーズ東京
- S51 基調講演 2 市民とすべての専門職が協働する意思表示支援の実現とその人材育成265
長江 弘子 東京女子医科大学
- S51-1 まちづくりにおける看護師の役割と可能性265
中山美由紀 社会医療法人財団大和会東大和市在宅医療・介護連携支援センターなんがい

シンポジウム 52 箱から飛び出せ! 管理栄養士～在宅医療に訪問栄養指導は必須です!～

7月15日(月・祝) 10:30~12:00 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 西村 一弘 駒沢女子大学

座長 洪 英在 三重県立一志病院家庭医療科

- S52-1 愛知から飛び出せ在宅栄養支援の和266
富士恵美子 訪問看護ステーションななみ
- S52-2 こんな管理栄養士と仕事がしたい! ケアマネジャーが求める訪問栄養指導とは267
高岡 里佳 医療法人財団緑秀会田無病院
- S52-3 医師の立場で、管理栄養士に期待すること267
洪 英在 三重県立一志病院
- S52-4 地域包括ケアシステムにおける栄養管理の必要性268
田中 弥生 関東学院大学栄養学部管理栄養学科

共同企画: 日本在宅栄養管理学会

シンポジウム 53 ㊤ まちづくりとしてのカフェ

7月15日(月・祝) 9:10~12:00 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 鈴木 道明 小平すすきクリニック

座長 鶴岡 優子 つるかめ診療所

- S53 基調講演 **がん哲学外来～楕円形の心で寄り添う～**269
樋野 興夫 順天堂大学医学部病理・腫瘍学、国際教養学部(兼任)
- S53-1 **まちの喫茶店が「がんカフェ」に一街中の居場所の確保がリハビリの第一歩**270
真原 仁 千葉大学医学部附属病院
- S53-2 **新宿区百人町アパート「ほっと安心カフェ」の10年に学ぶ連携のあり方**270
河相ありみ 介護者サポートネットワークセンター・アラジン
- S53-3 **9種類のカフェを定期的開催することで得た知見**271
谷合 憲明 特定非営利活動法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会
- S53-4 **Social Capital×CBPRで“地域主体の健康まちづくり”を目指した「健高カフェ」の取り組み**271
井階 友貴 福井大学医学部地域プライマリケア講座/高浜町国民健康保険和田診療所/JCHO 若狭高浜病院/
たかはま地域☆医療サポーターの会/高浜町
- S53-5 **ふらっとカフェの歩みと課題**272
河 正子 NPO 法人緩和ケアサポートグループ
- S53-6 **「がんカフェ」の活動報告 開業医・在宅医の立場から**272
高世 秀仁 東久留米なごみ内科診療所
- 特別発言 鶴岡 優子 つるかめ診療所

シンポジウム 54 臨床工学と在宅医療

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第12会場(京王プラザホテル 新宿 47F あおぞら)

座長 石井 宣大 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部

座長 大村 孝志 社会医療法人財団大和会

- S54-1 **在宅における医療機器安全確保(公益社団法人日本臨床工学技士会の取り組み)**273
相嶋 一登 横浜市立市民病院臨床工学部/公益社団法人日本臨床工学技士会在宅医療機器委員会
- S54-2 **在宅医療と臨床工学技士の関わり～チームで取り組む～**274
春田 良雄 公立陶生病院臨床工学部
- S54-3 **在宅血液透析における臨床工学技士業務の現状と未来**274
大瀧 和也 埼玉医科大学病院
- S54-4 **診療所における臨床工学技士の役割**275
阿部 博樹 プラーナクリニック
- S54-5 **在宅血液透析(HHD)の看護について**275
中尾 弘美 医療法人敬任会藤井寺敬任会クリニック
- S54-6 **在宅医療における医師と臨床工学技士の連携～より適切な在宅酸素療法を行うために～**276
青木 康弘 医療法人康曜会プラーナクリニック呼吸器内科

共同企画：公益社団法人日本臨床工学技士会

スポンサードセッション 質の高いエンドオブライフケアを支える起業家看護師の挑戦～看護師が社会を変える～

7月14日(日) 13:40～16:30 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

1. 講演「日本財団在宅看護センター」の運営状況から見る起業家育成事業の効果と在宅看護の可能性 ……277

佐々木由理 公益財団法人笹川保健財団

2. シンポジウム 起業家看護師の挑戦とエンドオブライフケアにおける在宅/訪問看護の可能性～多事業所分析と事例から～ ……278

座長 松本 京子 NPO法人神戸なごみの家

座長 喜多 悦子 公益財団法人笹川保健財団

入澤 亜希 葵の空在宅看護センター

坂下 聡美 一般社団法人在宅看護センター北九州

沼崎美津子 看護小規模多機能型居宅介護事業所在宅看護センター結の学校

イン克蘭裕美 日本財団在宅看護センターすまいるナーシング

丸山美智子 幹(みき)在宅看護センター

共催：公益財団法人 笹川保健財団

ワークショップ1 ランチ交流会「じっくり語ろうワークライフバランス」

7月14日(日) 12:20～14:20 ランチ交流会会場(京王プラザホテル 新宿 47F あかね)

座長 河合 由紀 コンフォガーデンクリニック・カトレア外来塾

……………280

ワークショップ2 地域包括ケアを勧めるファシリテーション

7月15日(月・祝) 8:50～12:00 第13会場(京王プラザホテル 新宿 47F あけぼの)

座長 鈴木 央 鈴木内科医院

演者 鈴木 央 鈴木内科医院 ……281

ファシリテーター 大川 恒 株式会社 HRT ……281

ワークショップ3 指導医大会(専門医制度将来構想委員会 企画)

7月15日(月・祝) 13:40～16:00 第13会場(京王プラザホテル 新宿 47F あけぼの)

座長 斎藤 康洋 GPクリニック自由が丘

1 病連携で Bio-Psycho-Social を診る力を育てる～卒前2年の臨床実習から卒後5年の専攻医教育まで…282

太田 光泰 横浜市立大学医学部医学教育学・総合診療医学/横浜市立大学附属病院総合診療科

2 亀田家庭医 在宅プログラムの発足 ……283

吉澤 瑛子 亀田ファミリークリニック館山家庭医診療科

3 在宅研修の活かし方～小児在宅経験をふまえて～ ……283

橋本 和憲 ひのでクリニック

4 在宅専門医制度の現状と今後 ……284

木下 朋雄 コンフォガーデンクリニック

在宅医療インテグレーター交流会 統合のプロセスを検証する

7月14日(日) 17:00~18:30 第13会場(京王プラザホテル 新宿 47F あけぼの)

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター

- 1 問題の分析と介入方法の提示によるケアの統合(症例発表)285
餅原 弘樹 のぞみの花クリニック
- 2 信頼関係に基づく意思決定支援の実践(症例発表)286
山内 和枝 医療法人社団互酬会水道橋東口クリニック
- 3 在宅医療インテグレーター養成講座を地域で実施する(伝達講習報告)286
新屋 洋平 医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科

じっくり語ろう グリーフケア

7月14日(日) 9:00~9:50 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

座長 野崎 仁美 在宅看護センターレイル

リーダー 高橋 慶一 がん・感染症センター都立駒込病院外科287

じっくり語ろう スピリチュアルケア

7月14日(日) 10:00~10:50 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

座長 小野 幸代 訪問看護ステーションつばさ

リーダー 森本 昌宏 大阪なんばクリニック288

じっくり語ろう 若手多職種交流企画

7月14日(日) 11:00~12:00 第13会場(京王プラザホテル 新宿 47F あけぼの)

座長 洪 英在 三重県立一志病院家庭医療科

リーダー 木村 琢磨 埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS 館クリニック289

じっくり語ろう MSW 集まろう

7月14日(日) 13:40~14:30 第13会場(京王プラザホテル 新宿 47F あけぼの)

座長 新井 敏文 東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

リーダー 馬見塚統子 社会医療法人財団大和会東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい290

じっくり語ろう 事務集まろう

7月14日(日) 17:00~17:50 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

座長 増永 英尚 オレンジホームケアクリニック

リーダー 網屋 修博 医療法人社団松健会えびす英クリニック291

じっくり語ろう ケアマネ集まろう

7月15日(月・祝) 9:10~10:00 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

座長 水谷 邦子 社会医療法人財団大和会東大和病院ケアサポート

座長 中野 亜希 社会医療法人財団大和会武蔵村山病院ケアサポート

リーダー 上村久美子 医療法人橘会居宅介護支援事業所万年青292

大河内章三 株式会社キープオン支援センターミナミ

じっくり語ろう 栄養士集まろう

7月15日(月・祝) 13:40~14:30 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

- 座長 古屋 聡 山梨市立牧丘病院在宅医療、整形外科
- リーダー 奥村 圭子 杉浦医院地域ケアステーションはらぺこスパイス293
- 田中 弥生 関東学院大学栄養学部管理栄養学科

じっくり語ろう 薬剤師集まろう

7月15日(月・祝) 14:50~15:40 第11会場(京王プラザホテル 新宿 4F かつら)

- 座長 浅田 美子 株式会社大和調剤センター中央薬局
- リーダー 松島夕美子 株式会社大和調剤センター中央南薬局294

市民公開講座 命の意味を語り合う～住み慣れた街で最期まで暮らすために～：在宅医療とまちづくり

7月15日(月・祝) 13:40~16:00 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

- 座長 田城 孝雄 放送大学大学院
- 座長 蘆野 吉和 社会医療法人 北斗 地域包括ケア推進センター
- 川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組295
- 宮脇 護 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室
- 最期までご自宅で暮らしたいと願う方々のために医療はどうあるべきか295
- 西田 伸一 公益社団法人東京都医師会
- 活力ある健康長寿社会の実現を目指して296
- 武見 敬三 参議院議員

ランチョンセミナー 1

7月14日(日) 11:50~13:20 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

- 座長 山下 巖 医療法人社団法山会山下診療所全国医療介護連携ネットワーク研究会
- LS1-1 virtual hospital 在宅医療が病院を超える日～急性期基幹病院と地域多法人による在宅医療の impact～297
- 谷合 久恵 JA 秋田厚生連由利組合総合病院
- LS1-2 どこでも連絡帳による在宅医療・多職種連携、患者タイムライン利用の実践報告297
- 趙 達来 真岡西部クリニック

共催：エンブレース株式会社

ランチョンセミナー 2

7月14日(日) 12:20~13:20 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

- 座長 川越 正平 医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所
- LS2 高齢者でよく診られる疾患とその治療について～带状疱疹・皮脂欠乏症を中心に～298
- 白濱 茂穂 聖隷三方原病院

共催：マルホ株式会社

ランチョンセミナー 3

7月14日(日) 12:00~13:00 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

- 座長 鈴木 央 鈴木内科医院
- LS3 認知症と高齢者てんかんについて299
- 吉岩あおい 大分大学医学部総合診療・総合内科学講座

共催：エーザイ株式会社

㊤…公募シンポジウム

ランチョンセミナー 4

7月14日(日) 12:20~13:20 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 太田 秀樹 全国在宅療養支援診療所連絡会

- LS4 ICT連携は患者のQOLを向上させる！？～MCSを用いたチーム医療により胃腸患者が経口摂取できるまでの軌跡～300
守上 佳樹 医療法人双樹会よしき往診クリニック

共催：アボット ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 5

7月14日(日) 12:20~13:20 第5会場(京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 木下 朋雄 新宿区医師会在宅医療・介護保険委員会
医療法人社団曙光会コンフォガーデンクリニック

- LS5 「多職種の高い敷居の上にある雲」
新宿区医療連携システム(新宿きんと雲)というICT(クラウド)による連携ネットワーク301
日下生玄一 新宿区医師会/医療法人財団新生会/百人町診療所

共催：帝人ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 6

7月14日(日) 12:00~13:00 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 鳥居 明 鳥居内科クリニック

- LS6 慢性便秘症診療の問題点と今後の期待302
尾高 健夫 尾高内科・胃腸クリニック

共催：EAファーマ株式会社/持田製薬株式会社

ランチョンセミナー 7 板橋区在宅医療の取組みとICTを活用した多職種連携

7月14日(日) 12:10~13:10 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 鈴木 陽一 板橋区役所前診療所

- LS7 板橋区在宅医療の取組みとICTを活用した多職種連携303
鈴木 陽一 板橋区役所前診療所
佐藤 恵 佐藤クリニック
塩原未知代 板橋区医師会在宅療養センター療養相談室

共催：株式会社カナミックネットワーク

ランチョンセミナー 8

7月14日(日) 12:20~13:20 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 水口 潤 社会医療法人川島会川島病院
座長 土谷 健 東京女子医科大学血液浄化療法科

- LS8 「在宅で診る透析医療」～訪問診療・訪問看護と専門施設との連携からみる腹膜透析の拡充に向けた取り組み～304
櫻田 勉 聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科
大橋 博樹 多摩ファミリークリニック

共催：バクスター株式会社

ランチョンセミナー 9

7月14日(日) 12:20~13:20 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 吉澤 明孝 医療法人社団愛語会要町病院

- LS9 早期からの緩和ケア提供～抗がん治療と緩和ケアの統合～305
松本 禎久 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 10

7月15日(月・祝) 12:00~13:00 第1会場(京王プラザホテル 新宿 5F エミネンス)

座長 石垣 泰則 コーラルクリニック

- LS10 在宅におけるボツリヌス療法を用いた痙攣治療の実践306
神山 一行 医療法人社団神星会港北ニュータウン診療所

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 11 在宅褥瘡：誰かに任せるでは済まされませんよ

7月15日(月・祝) 11:50~13:20 第2会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードA)

座長 塚田 邦夫 高岡駅南クリニック

- LS11-1 「在宅褥瘡ケアの特徴」307
切手 俊弘 滋賀県湖東健康福祉事務所彦根保健所
LS11-2 「在宅で行う褥瘡局所療法」307
袋 秀平 ふくろ皮膚科クリニック
LS11-3 「訪問看護ならではの褥瘡ケア」307
後藤 茂美 貢川訪問看護ステーション

共同企画：日本褥瘡学会在宅医療委員会
共催：アルケア株式会社

ランチョンセミナー 12

7月15日(月・祝) 12:20~13:20 第3会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードB)

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所

- LS12 在宅高齢者と低栄養について考えるー在宅医療の実態を踏まえてー308
佐々木 淳 医療法人社団悠翔会

共催：イーエヌ大塚製薬株式会社/株式会社大塚製薬工場

ランチョンセミナー 13

7月15日(月・祝) 12:20~13:20 第4会場(京王プラザホテル 新宿 5F コンコードC)

座長 長 純一 石巻市立病院開成仮診療所

- LS13 在宅でいかに COPD に伴走するか？～在宅で急性増悪を防ぎ入院させない～309
武知由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック

共催：チェスト株式会社/株式会社星医療酸器グループ

ランチョンセミナー 14

7月15日(月・祝) 12:20~13:20 第5会場(京王プラザホテル 新宿 4F 錦)

座長 山口 潔 医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力

- LS14 在宅におけるリウマチの薬物療法310
山口 優美 医療法人社団康明会康明会荻窪クリニック

共催：東和薬品株式会社

ランチョンセミナー 15

7月15日(月・祝) 12:00~13:00 第6会場(京王プラザホテル 新宿 42F 高尾)

座長 宮下 勉 医療法人社団鴻鵠会睦町クリニック

- LS15 在宅医療における迅速検査 POCT (Point of Care Testing) の有用性について311
泰川 恵吾 医療法人鳥伝白川会ドクターゴン診療所

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

ランチョンセミナー 16

7月15日(月・祝) 12:10~13:10 第7会場(京王プラザホテル 新宿 42F 富士)

座長 神野 範子 株式会社メディヴァ、医師

- LS16 家で診断！3.5kgの小型レントゲンが在宅患者と家族の負担を軽減する312
大杉 泰弘 豊田地域医療センター

共催：富士フイルム株式会社

ランチョンセミナー 17

7月15日(月・祝) 12:20~13:20 第8会場(京王プラザホテル 新宿 43F ムーンライト)

座長 藤田 拓司 医療法人拓海会神経内科クリニック

- LS17 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅診療における留意点とエダラボンの投与意義313
吉野 英 医療法人芳英会吉野内科・神経内科医院

共催：田辺三菱製薬株式会社

ランチョンセミナー 18

7月15日(月・祝) 12:20~13:20 第9会場(京王プラザホテル 新宿 3F グレース)

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック

- LS18 在宅NSTに大きく貢献する東洋医学活用術—食欲に特化した体重減少抑制の工夫—314
水野 英彰 悦伝会目白第二病院

共催：株式会社ツムラ